

# 伝承鳩

～文字でつなぐ 人の心～

No.9

- ◆このコーナーではご家族・ご友人などに向けた「作文」「手紙」「作品」などをご紹介します。
- ◆自分の想いを形に残したい、あの人のあの想いや言葉を形に残したい、という方がいらっしゃいましたら、ぜひ左記までご連絡ください。(先着順)
- ◆お寄せいただいた内容が、広報紙への掲載には不適切である場合や指定分量(文字数 500 字程度)を超える場合、掲載をお断りするか、編集のご相談をさせていただくことがあります。また、内容によっては「みんなの広場」の投稿欄などに掲載する場合があります。何卒ご容赦願います。

飛ぶ鳥を落とす、という言葉は日常生活の中で感ずる事は少ない。一方、飛ぶ鳥を捕獲する大鷹との遭遇体験は持っている。五年たっても記憶は鮮明だ。鳩つこ公園を南に向いて歩いていたその時、上空約二〇メートル、前方三〇メートルの地点で突然飛来した鳥が、飛ぶ鳥をつかみ急降下。初めての大鷹との出会いが訪れた。演出でもなく正に目の前で展開される自然の営みに圧倒された。眼光鋭く下方を向く嘴がはつきり見える。体長四〇センチながら堂々と威光を放つ姿は実に印象的だった。

止めを刺したのか数分で音もなく低空飛行を開始。後を追うと、何と私の家の駐車場に一度着地したらしく、真新しい羽毛を残して飛び去った後だった。大鷹との貴重な出会いは生涯一度の事と頭の中で反芻した。

しかし二年前の三月、子どもを出迎えようと鳩つこ公園に着いた五分後、何と大鷹が弧を描き常緑樹に突撃し、鳩をつかんで地面に急降下した。

朽ちて今はない「オオタカ保護区」の風情漂う看板を、私はもう一度見たいと願っている。

近年、明治神宮外苑では大鷹の営巣が継続していると聞く。豊かな自然が子育てを可能にしている事を思うと、鳩山町の自然が保全されれば、三度目の機会も将来訪れるかも知れないと密かに思う。

水村 典子(鳩ヶ丘)

## 人口と世帯

9月1日現在、( )は対前月比

人口	14,375人 (- 12)
男	7,085人 (- 6)
女	7,290人 (- 6)
世帯	5,902世帯 (+ 2)
8月の出生数	3人

## 10月の納税・納付

町・県民税	(第3期)
国民健康保険税	(第4期)
後期高齢者医療保険料	(第4期)
介護保険料	(第4期)

●納期限を過ぎないように、コンビニ納付や口座振替をご利用ください。

## 編・集・室

今月号では、防災についてお伝えしましたが、編集中に、北関東や東北で、記録的豪雨により甚大な被害が発生しました。被害に遭われた方々に、心からお見舞い申し上げます。

町の防災訓練は、台風の影響による大雨と、併せて震度6強の地震の発生、という想定のもと訓練が行われました。訓練当日の朝には、首都圏で震度5弱の地震が発生し、先のとおり北関東を中心に、台風の影響による豪

雨災害が発生した直後でした。埼玉県は、自然災害が比較的少ない県ですが、県土の中で河川の占める割合が日本一です。近年非常に多くなったゲリラ豪雨なども含めて、河川の氾濫による被害を中心に、いつ災害が発生し、ライフラインに大きな被害が発生してもおかしくない状況の中、私たちは生活しています。

日頃から、被害を最小限にする備えや心構えについて、今一度考え直す必要があります。Ⓚ

## 広報写真で振り返る町の歴史 ⑳



平成 20 年 4 月 14 日  
つどいの広場(ぼっぼ)  
開所式  
開設した多世代活動交流センターで行われた式典に、関係者や親子の約 80 人が参加し、記念講演が行われた様子が伝えられています。【平成 20 年 5 月 (No.432) 号より】